

## 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果 (H28. 5/4~25)

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの浮遊放射性物質の濃度(ミリベクレル/m<sup>3</sup>)を測定しました。※下段( )内は検出限界値。

測定地点			5/4~5/11	5/11~5/18	5/18~5/25
小高区	川房公会堂 (川房)	Cs134	0.041 (0.015)	0.039 (0.015)	0.045 (0.016)
		Cs137	0.260 (0.012)	0.240 (0.013)	0.220 (0.016)
	金房小学校 (飯崎)	Cs134	0.022 (0.015)	0.023 (0.013)	不検出 (0.020)
		Cs137	0.120 (0.014)	0.120 (0.015)	0.057 (0.020)
	塚原公会堂 (塚原)	Cs134	不検出 (0.013)	不検出 (0.019)	不検出 (0.021)
		Cs137	0.056 (0.013)	0.046 (0.014)	0.056 (0.019)
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	Cs134	不検出 (0.016)	不検出 (0.019)	不検出 (0.020)
		Cs137	0.093 (0.016)	0.058 (0.019)	0.088 (0.018)
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	Cs134	不検出 (0.019)	不検出 (0.015)	不検出 (0.012)
		Cs137	0.043 (0.012)	0.022 (0.016)	0.035 (0.015)

【お知らせ】平成28年4月から、試料の採取方法が7日間の連続吸引に変わりました。

測定地点			5/4~5/11	5/11~5/18	5/18~5/25
原町区	横川ダム (馬場)	Cs134	0.033 (0.016)	0.045 (0.014)	0.023 (0.015)
		Cs137	0.180 (0.016)	0.190 (0.012)	0.150 (0.015)
	原町保健センター (小川町)	Cs134	0.014 (0.013)	0.018 (0.012)	不検出 (0.016)
		Cs137	0.100 (0.011)	0.100 (0.012)	0.041 (0.015)
	高平生涯学習センター (下高平)	Cs134	不検出 (0.015)	不検出 (0.022)	不検出 (0.016)
		Cs137	0.096 (0.013)	0.037 (0.014)	0.040 (0.014)
	市立総合病院 (高見町)	Cs134	0.023 (0.018)	0.044 (0.021)	不検出 (0.021)
		Cs137	0.140 (0.016)	0.220 (0.019)	0.049 (0.021)
	大原公会堂 (大原)	Cs134	不検出 (0.019)	0.022 (0.013)	0.026 (0.014)
		Cs137	0.120 (0.016)	0.120 (0.012)	0.110 (0.016)

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、放射能濃度が検出限界値未満の場合、「不検出」と判定されます。

### ★渡邊正己京都大学名誉教授 (市放射線健康対策委員会委員長)による解説★

今回の観測値は、セシウム137が0.10±0.015 mBq/m<sup>3</sup>、セシウム134が0.03±0.016 mBq/m<sup>3</sup>で過去の測定値と比べて低濃度になっています。これらの値は、法律※で定められている粉塵中のセシウムの放射能濃度限度(セシウム134:20,000 mBq/m<sup>3</sup>、セシウム137:30,000 mBq/m<sup>3</sup>)に比べていずれも数十万分の一という小さな値で、健康に影響はありません。

※平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則